【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【公開番号】特開2006-92195(P2006-92195A)
【公開日】平成18年4月6日(2006.4.6)
【年通号数】公開・登録公報2006-014
【出願番号】特願2004-275909(P2004-275909)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｔ　17/40　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｔ　17/40　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成19年9月18日(2007.9.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
有意値を視点からの距離を基準に設定したが、距離は遠いが相対的にパーツ画像が占める表示面積が大きい場合、また、逆に距離は近いが相対的にパーツ画像が占める面積が小さい場合等、表示対象から除外する順番が、距離のみでは不具合が生じることがある。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３５】
本実施の形態では、プログラムデータとして、デザインシミュレーションプログラムが記憶されており、上記ゲーム装置１００は、このデザインシミュレーションを実行するべく、レンダリングプロセッサ１０６及びサウンドプロセッサ１０８等が起動する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４６】
上記の有意値の相対関係を式で示すと、第２のパーツ画像５４＝第３のパーツ画像５６＞第４のパーツ画像５８（第２のパーツ画像５４＞第３のパーツ画像５６としてもよい）となる。